

みどりの風



令和6年7月23日発行 No.7
校長 池田 誉

1学期終了！いよいよ夏休み

7月19日（金）に1学期の終業式を迎えました。毎日のたくさんの学習や生活の中で、子どもたちはいろいろな力をつけていきます。23人一人一人の姿を見ると、4月当初に比べ、どの子も自分の力をしっかりと伸ばし、成長したと感じます。1学期元気にがんばったことをしっかりとほめ、子どもたちの自信と次へのやる気を高めていただければと思います。

この夏休みも、規則正しい生活を心がけ、元気に過ごしてほしいと思います。この時期にしかできないことにチャレンジして、充実した夏休みになることを願っています。

おちやさん(夏休みバージョン)

お・・・おてつだい
ちゃ・・・おちやをのむ
や・・・やりきる
さん・・・さんかする

生徒指導担当の池田先生が終業式で児童に伝えました

富原の農業について学びました

富原小学校では、梶岡泰士さんを講師にお招きして、毎年3・4年生が富原の農業と林業について学習しています。今年度は農業について学習する年で、7月16日（火）に富原で特色ある農業に取り組んでおられる方のところに案内していただきました。

岩井谷の柴田さんにはクレマチスの栽培について教えていただきました。クレマチスは、結婚式などでも使われる高級な花です。ハウスの中で手間をかけて育てている様子をわかりやすく説明してくださいました。

そこからほど近い畑では、綱島さんに銀沫（ぎんしぶき）を育てている様子を見せていただきました。銀沫は今や真庭の特産品として有名ですが、その中でも勝山地区での生産が盛んです。よく手入れされた畑で大切に栽培されていることがわかりました。

後谷のかなり奥に入った山の中に、船津さんの果樹園と梶岡さんのお茶畑があります。

船津さんは広いブドウ畑でニューピオーネやシャインマスカットを作っています。1本のブドウの木から枝を長く伸ばして栽培できるようになるまで、何年もかかるそうです。大きくなってきたブドウの房に袋をかける体験をさせていただきました。

その近くの梶岡さんのお茶畑では、大型の刈り取り機に乗せていただき、収穫の様子を体験しました。学校近くのお茶畑よりも広いので、大きな機械で刈り取ることがわかりました。

いずれの見学場所でも、メモを取りながら熱心にお話を聞いていた3・4年生の3人。改めて、富原は多彩な農産物の宝庫であることを確かめることができました。伝統あるこれらの特産物を、これからも大切にしていきたいとの思いをもったことでしょうか。学んだことを、今後まとめたり発表したりして、学習を深めてほしいと思います。



暑くて熱かった校内水泳記録会

7月22日（月）に校内水泳記録会が行われました。朝から強い日差しが照りつけるプールで、今までの水泳学習の成果を発揮しました。

水泳（低学年は水遊び）は、水に対する恐怖心や泳げないときの苦しさなどを、よりよい泳ぎ方を身につけることによって克服し、記録を伸ばす楽しさを感じることができる運動です。6月の開始時期には思うように泳げず不安そうだった児童が、練習を重ねるうちに力をつけ、たくましくなっていく様子を多く見ることができました。担任の先生方の、上手にほめながらやる気を出させる指導もあり、めきめき上達して本番を迎えました。

たくさん来てくださった家族の方と友達の熱い応援を受けて、いっしょけんめい泳いだ子どもたち。多くの児童が自己最高記録を出すことができました。この夏「チャレンジ」した成果を実感できた経験を、今後の学習や生活に活かしてほしいと思います。



家庭・地域で過ごす夏休みに

7月22日（月）、23日（火）のサマースクール・個人懇談が終わり、本格的な夏休みに入りました。勉強も大切ですが、普段できない様々な経験をしてほしいと思います。

一昔前には「夏休みは子どもを家庭と地域にかえす」と言うことがよくありました。学校での勉強から解放され、友達といっばい遊んだり、家でおじいちゃん、おばあちゃんと過ごしたり、お盆の親族の集まりや地域の行事が楽しみだったり…。今より子どもがたくさんいて、近所の大人と顔を合わせる機会も多かった時代です。今は各地で様々なイベントが開かれていますが、地域の行事は大きく減り、近所の人と顔を合わせる機会も少なくなりました。

改めて今の時代に、富原で子どもと様々な人との新たなつながりを作ろうとするイベントが、この夏休みで開催されます。

1つは8月5日（月）に行われる「富原地域子どもの居場所づくり事業『サマースポット』」です。真庭市社会福祉協議会勝山支所が企画してくださいました。以前から勝山文化センターで同じような行事がありましたが、富原からはなかなか参加しづらいということもあり、今回は富原の子どもたちのために企画してくださいました。「富原地域福祉のむらづくり」や学校支援ボランティアの方もご協力くださいます。

もう1つは8月8日（木）に行われる学校運営協議会・PTA主催の「星空観察会」です。5月の「富原っ子みらい会議」で児童・保護者・地域の方が「富原のお宝」を語り合う中から生まれた初めてのイベントです。「お宝」である美しい星空を楽しみ、みんなで一緒に花火をして交流を深めることが目的です。地域の方にも広く参加を呼びかける予定ですが、児童と保護者の皆様にぜひ参加していただきたいと思います。

これらの行事が、新たな地域のつながりを生み出すことを期待しています。子どもたちにとっても、家族や地域の方と過ごして、楽しい夏の思い出の一つとなると思います。多くの方の参加をお待ちしています。